## 多文化に対応した災害対策 ~ニューサウスウェールズ州State Emergency Service~

シドニー事務所

海外生まれの国民が総人口の約 4 分の1を占め、260 以上の言語が使用されているオーストラリアでは、先進的な多文化主義政策が浸透しています。教育、医療通訳など様々な分野で先進的な多文化施策が進められており、災害対策も例外ではありません。今回は、緊急事態に対応するニューサウスウェールズ(NSW)州立機関「State Emergency Service(SES)」についてご紹介します。

## 1 SESとは?

緊急事態といっても、暴風雨災害・列車脱線・洪水・バイオハザード・テロ・感染症・ 山火事・停電等様々あります。NSW 州では、その発生原因により責任を負う機関が異なり

ますが、SES は洪水・嵐・津波等緊急時の活動を統制しています。ほとんどのメンバーがボランティアで、約1万人が在籍。約300人の常勤の職員がボランティアのコーディネートを行っています。ボランティアといっても腕はプロ級。高度な訓練を行うだけでなく、必要な設備も備えています。

また、多民族国家を反映し、 文化的・言語的に多様な背景を 持つ人たちに対して津波や嵐 への備え、対処などの情報を提 供しています。



SESのウェブサイトでは多言語での情報提供が

## 2 コミュニティーをいかに巻き込むか

「災害に対する備え」「災害が発生したときの対応方法」―こうした取組はどちらの自治体でも行われていると思いますが、それをいかに市民に浸透させるかがポイントです。日本では、日本語をあまり話さない外国人住民に対してどうやって伝えるか、創意工夫されているところもあるのではないかと思います。

SESでは、コミュニティーエンゲージメントチームという地元住民との関係づくりを専門とする部署を持ち、地元コミュニティーとの関係構築を担当するコーディネーターを配備しています。平常時からも継続的にコミュニティーと情報交換を行うことが重要と考え、防災対策や避難方法を周知するなどの支援を行っています。担当するコミュニティー

を理解するには相手を知ることが大切であるとし、5年ごとに行われる国勢調査結果に基づき、コミュニティーごとの言語、人数、宗教などをプロファイリングしています。

そのほか、シドニーでは頻繁に行われる文化を祝うイベントや宗教関係のイベントに参加してPRするほか、コミュニティーリーダーを通して情報伝達を行っています。

一つ、具体例として「Wise Up(理解させる)プログラム」というイスラム教徒の若者を対象にしたものを紹介しましょう。SES のボランティアとして同じコミュニティー出身者が活躍する姿を見せ、今後は若い彼らがリーダーになり得ることを理解してもらいます。また、母国で戦災に遭い、家族と引き裂かれた経験を持って移民していることが多い彼らは、制服を着ている人を怖がる場合があるようです。そうした人たちに SES のことを理解

してもらうという一面も担っています。自分の目標が持てずに非行に走る若者であっても、こうしたプログラムを通してコミュニティーに貢献できることを理解してもらうとともに、将来のコミュニティーリーダーあるいは SES ボランティアになることも期待されます。



Wise Up プログラム

## 3 コミュニティーから孤立している人には

いかに多くの人たちに情報を行き届けるか、これは緊急事態に対応する組織にとっては本当に大切なポイントです。コミュニティーを軸に人々を巻き込んでいくSESにとって、コミュニティーから孤立している人、またコミュニティー意識が希薄な地域の存在は、注目すべき点です。

コミュニティーから孤立し、組織化された場に属していなくても、インフォーマルな場 (パブ、カフェ等)での付き合いの可能性があるため、SESではそうした場の把握を重要視しています。また、特定のグループに属していなくても、生活に必要な場所としてショッピングセンター等には必ず行くので、そこで PR することもあります。

また、シドニーの街中ではコミュニティー意識が希薄な場合もあります。このような場合は共通するリスクを通じてコミュニティー意識を醸成させるよう努めています。例えば、都市部ではマンションの駐車場が地下にあるのが通常であり、洪水時の対処は近隣住民の共通課題となっています。洪水に備えるため、その地域で情報発信を担う方を探し出し、注意喚起や満潮時刻の発信などをしてもらう仕組みづくりを始めており、地域の方をまとめてもらうことに繋がった成功事例がうまれているようです。

このほか、家屋火災対策や山火事対策、また定住支援や医療通訳制度などオーストラリアの多文化主義政策に関する調査結果を、<u>シドニー事務所ウェブサイト</u>で広くご紹介しています。ぜひご覧ください。

(平澤所長補佐 広島県派遣)